

2020年6月
インターステラテクノロジズ株式会社

観測ロケット「えんとつ町のプペル MOMO5号機」打上げを2020年6月に実施 ー 打上げ日時は前日発表・無観客打上げ・来町自粛呼びかけなど最大限の感染症対策をー



インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町 代表取締役社長：稲川貴大、以下インターステラテクノロジズ）は、「世界一低価格で、便利なロケット」をコンセプトとして観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を独自開発しています。当社は、大樹町からの強い要請により2020年5月2日（土）～6日（日）の間での観測ロケット「えんとつ町のプペル MOMO5号機（以下MOMO5号機）」の打上げを延期致しました。その後、新型コロナウイルス感染症対策の周知活動や大樹町をはじめとした関係各所との調整を経て、MOMO5号機の打上げを下記の通り実施することが決まりましたので、お知らせいたします。

【観測ロケット「えんとつ町のプペル MOMO5号機」打上げ概要】

- 打上げ時期：2020年6月
※自粛の呼びかけに応じない見学者の来町を最小化するため、詳細な日時は直前（前日）まで発表致しません
- 打上げ場所：インターステラテクノロジズ大樹ロケット射場（北海道大樹町）

新型コロナウイルス感染症対策をさらに強化

完全無観客打上げ、来町自粛呼びかけ等の対策に加え、“日時発表を直前まで控える”

当社は、ゴールデンウィークに予定していたMOMO5号機打上げ時にも、見学場の封鎖、完全無観客、立入り制限区域の拡大やメディアの入場制限など、最大限の新型コロナウイルス感染症対策を実施する予定でした。しかしながら、来町自粛の呼びかけに応じない見学者を懸念する声が大樹町に寄せられたことから、大樹町から強い打上げ延期要請を受け、延期を決定致しました。

その後、大樹町民をはじめとした多くの方にロケット打上げに関するご理解をいただくために、大樹インターステラ後援会や大樹町観光協会等のご協力をいただきながら、チラシ、大樹町広報誌、YouTubeでの動画メッセージ、ポスター等の方法で対策の周知徹底に努めてまいりました。

次の打上げについては、新たに「打上げ日時の発表を直前まで控える（前日発表を予定）」ことを追加し、より一層感染症対策を強化致します。打上げの様子はYouTube等でライブ配信を行います（配信の詳細情報は当社公式Facebook、Twitterをご確認ください）。ぜひ、多くの方にライブ配信にてロケット打上げを愉しんでいただけたらと思います。

《えんとつ町のプペル MOMO5号機打上げに伴う新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策》

- 打上げ日時の発表を直前まで控える（前回対策から新たに追加）
- 見学場封鎖による完全無観客打上げ
- 見学の方が大樹町に来ないように自粛を呼びかけ
- 立入り制限区域の拡大（打上げを見られる場所を大幅に減らす）
- 制限区域外で人が入れそうな場所へのパトロールと声掛けの準備
- YouTube、ニコニコ動画によるライブ配信の充実（詳細は当社SNSにてご案内します）
- メディアはオンライン取材とし・打上げ取材はカメラマンのみに制限
- 打上げ後記者会見は、オンラインで実施
- 新聞・チラシ等で立入り制限区域やパトロールエリアを周知

「コロナに負けない」緊急支援クラウドファンディング、達成率471%！

全国から4200万円もの支援が集まり、“みんなのロケット”に

ロケット打上げの延期は、事実上の企業活動の停止となります。休業補償も出ない苦しい状況をどうにか改善しようと5月2日(土)～31日(日)の30日間、インターステラテクノロジズ緊急支援クラウドファンディングをCAMPFIREにて急遽実施いたしました。目標金額を900万円（2019年秋に実施したMOMO5号機のクラウドファンディングと同額）と設定した今回のクラウドファンディングでしたが、開始からわずか10時間足らずで目標を達成し、その後も支援の輪が広がり続け、42,397,419円、2475名の方からご支援をいただきました。「逆境に負けずに頑張ってください」「インターステラテクノロジズの挑戦にいつも勇気をもらっています」等の励ましの声は私たちの力になりました。

また、1000万円コースのリターンであった「MOMO5号機ネーミングライツプラン」は、西野亮廣エンタメ研究所(オンラインサロン、オーナー：西野亮廣)に購入していただき、ロケットは「えんとつ町のプペルMOMO5号機」と命名されました。

【新型コロナに負けない！】インターステラテクノロジズは宇宙開発をあきらめない！！

IST テクノロジー・ガジェット



現在の支援総額
42,397,419円
残り
目標金額は9,000,000円

支援者数
2475人

募集終了まで残り
終了



CAMPFIREのクラウドファンディングページ

西野亮廣氏が脚本＆監督となり完全分業制で制作した絵本「えんとつ町のプペル」

Theotex Group HD 株式会社が「MOMO5号機」の新規の機体スポンサーに

ブロックチェーンの技術を用いた様々なサービス開発を行うTheotex Group HD株式会社が新たに「MOMO5号機」の機体スポンサーとなりました。TheotexGroupHD株式会社のグループ企業である、株式会社ブラチナエッグが開発するスマートフォン向けアプリ“CrossLink”は「片手間にゲームをプレイしてお小遣いも稼げる」放置型GPS連動ブロックチェーンゲームで、今夏サービス開始予定となっています。機体には、「CROSSLINK」のロゴが掲示されています。Theotex Group HD株式会社には、弊社のミッションやロケット開発に共感をいただき、今回の機体スポンサー決定に至りました。



《参考情報》

「MOMO5号機」のスポンサー・ペイロードについて

「MOMO5号機」には企業10社、個人の方1名様から機体スポンサーのご支援やペイロード等のご依頼をいただき、宇宙にお客様からお預かりしたペイロードを届けたり、地上で行うミッション等に挑戦してまいります。

《ロケット機体広告のスポンサー》

■有限会社なにわ

創業1969年、北九州市に9店舗を置く、お好み焼き・焼きそば・鉄板焼きの専門店「なにわ」のロゴを機体に掲示いたします。



■IMV株式会社

大阪府に本社を置く、世界TOPシェアの振動試験装置メーカー「IMV株式会社」のロゴを機体に掲示いたします。



■ Theotex Group HD 株式会社（上記を参照）

《ネーミングライツ》

■西野亮廣エンタメ研究所

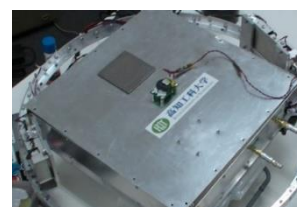
「えんとつ町のプペルMOMO5号機」と命名

《ペイロード》

■高知工科大学

「インフラサウンドセンサ（超低周波音マイク）」

インフラサウンドセンサー（超低周波音）を搭載した実験は、津波・雷・台風・噴火等の災害に繋がる自然現象を遠隔観測する技術の向上を目指したものです。同大学のセンサーは「MOMO2号機」から3回搭載し、今回が4回目。「宇宙品質ヘシフト MOMO3号機」のデータとの比較により理工学的研究を進めます。



■三菱プレジジョン株式会社 「小型ロケット用航法センサ」

三菱プレジジョン株式会社では、現在、小型ロケット向けに航法センサを開発しており、本実証ではその基本機能を確認することを目的としています。本航法センサは誘導制御用、飛行安全用の2種類の用途への適用を想定しておりロケットの位置、速度、姿勢、加速度、角速度を計測することができます。各種宇宙機器の開発で培った経験をベースとしつつ、新たに開発した小型ロケット向けの次世代航法センサとして、低コスト化、機能追加、高性能化を実施しています。本実証では、開発中の小型ロケット用航法センサの基本機能である、位置、速度の計測機能に関する実飛行環境でのデータ計測を行います。

■平和酒造株式会社 「日本酒 “紀土(きっど) 純米大吟醸 宙(そら)へ!!!”

平和酒造株式会社(和歌山県海南市)の「紀土(きっど) 純米大吟醸 宙(そら)へ!!!」を、ロケットの燃料に添加し宇宙を目指します。ロケットの燃料にお酒を添加して打上げを行う世界初の試み。前回「ペイターズドリーム MOMO4号機」に続き、「MOMO5号機」でも日本酒×日本製のロケットで宇宙に再挑戦します。「紀土(きっど) 純米大吟醸 宙(そら)へ!!!」は、「MOMO」応援酒として販売され、原材料や人件費等の必要費用を除いた利益のほぼ全てをスポンサー費用として提供いただきます。



■チル株式会社 「シーシャ（水タバコ）フレーバー&吸い口」

「チルインのシーシャの煙を宇宙に届けよう！」都内に展開する水タバコ/シーシャ専門店「チルイン」のシーシャフレーバーを搭載します。リンゴのフレーバーとチルインロゴ入り吸い口をロケットに乗せ、宇宙を目指します。



■株式会社サザコーヒー 「超 高級 パナマ・ゲイシャコーヒー」

「世界一高価なコーヒーを、宇宙へ」。超高級「パナマ・ゲイシャコーヒー」を超高気密コーヒープックに詰めた『サザ カップオン9』を搭載します。前回「ペイターズドリーム MOMO4号機」に続き、2度目のペイロード搭載となります。



■個人搭載 「超電磁P様の電子工作製作物」

超電磁P様という個人の方の製作物を搭載し、宇宙空間で動作させる試みです。個人の方のペイロードを搭載することは今回が初めてとなります。
超電磁P 様 Twitter: <https://twitter.com/chodenzi>

【地上ミッション】 ■株式会社瓢月堂「世界初の試み “ロケットファイヤー！たこ焼きプロジェクト” 始動」

-ロケットの火力で“たこパティエ”は焼けるのか？-

株式会社瓢月堂が前代未聞の挑戦へ

本格たこ焼きスイーツ「たこパティエ」を「MOMO5号機」打ち上げの際に噴出されるロケットの炎で焼き上げるミッションです。現在も本番での成功に向け、炎の当たる角度や時間など、緻密な調整を行っています。

「たこパティエ」の運命はいかに！？



【本件に関するお問合せ】

インターステラテクノロジズ株式会社 広報 小林徹（こばやしとおる）/ 中神美佳（なかがみみか）
Mail: press@istellartech.com TEL: 01558-7-7330

インターステラテクノロジズ 観測ロケット「えんとつ町のプペル MOMO5号機」 打上げ当日の取材のご案内

インターステラテクノロジズ株式会社は、2020年6月に北海道大樹町にて観測ロケット「えんとつ町のプペル MOMO5号機（以下、MOMO5号機）」の打上げを予定しています。MOMO5号機打上げは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、**道内メディアの方のカメラ設置のみ可能とし、その他の取材（囲み取材、打上げ後記者会見）はオンライン上で行うこととします。**大樹町内への来町を最小限にするために、カメラ設置の際はカメラマンのみお越しいただくようにご協力をお願い致します。

《カメラ設置可能エリア》

①SKY-HILLS（スカイヒルズ、IST運営、ISTへの申し込み）

射点を撮影できる唯一のエリアです。今回はIST公式広報の本部はスカイヒルズには置きません。

②インターステラテクノロジズ大樹ロケット射場（IST運営、ISTへの申し込み）

ロケット射場の射点にカメラを設置することができます。バッテリー、トリガー、露除け等は各自でご用意ください。また、カメラの破損、故障につきましては当社では責任を負いかねますので、ご了承ください。

③大樹町多目的航空公園（大樹町運営、大樹町への申込）

射点から約2kmの位置にある、大樹町主催のカメラ設置可能エリアです。
添付の大樹町からの案内をご確認のうえ、大樹町役場への申し込みをお願い致します。

《情報公開タイミングについて》

来町の自粛を呼びかけてもなお町に来てしまう見学者を最小化するために、打上げ日時の発表を直前まで控えることとします。また、当日取材に入るカメラマンの皆様におきましては、取材に関する調整等で時間が必要かと思いますので、以下のタイミングで情報をお伝えします。**ただし、日にち・時刻・打上げ可能時間枠（ウインドウ）の情報公開タイミングは前日となりますので、ご注意ください。それより前に情報が漏れた場合は打上げ自体の実施に影響が出る可能性があります。また、ルールを守っていただけない場合には当日の取材を一切お断りさせていただきますので**何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

※公開タイミングについて

- 打上げ予定期間（6/3の記者会見にて公開情報）：2020年6月
- 打上げ予定日時（日にち、時刻、打上げ可能時間枠＝ウインドウ）の情報公開タイミング：
打上げ日の前日（※0時を予定）

※メディアの皆様へのご連絡について

- 5日前：日にちのみメディアの皆様にご連絡（情報公開ではありません。時刻、ウインドウは発表致しません）
- 2日前 AM10時：時刻、打上げウインドウをメディアの皆様にご連絡（情報公開ではありません。）
- 前日 0時：ISTのプレスリリース/SNS公開をもって、情報公開（前日の新聞朝刊等に間に合うように）

※前日判断は打上げ時刻の24時間前であるため、延期した場合は前日0時の発表と情報が変わる可能性があります

《打上げに関するオンライン取材・カメラ設置の申込》

オンライン取材、当日のカメラ設置をご希望の方は、下記URLより取材申し込みフォームへ入力いただきますようよろしくお願い致します。打上げに関するオンライン取材は事前登録制で、当日飛び入りでの参加はできませんので必ずお申し込みください。お申込みをいただいた方に、打上げに関する情報をご案内いたします。

▼打上げ取材申込フォーム

<https://forms.gle/A8tKUUKAMNbmsYUU7>

▼申込締切

2020年6月5日（金）10:00



【本件に関するお問合せ】

インターステラテクノロジズ株式会社 広報 小林徹（こばやしとおる） / 中神美佳（なかがみみか）
Mail: press@istellartech.com TEL: 01558-7-7330